

一般質問

6月定例会



6月16日～18日の3日間にわたり、12名の議員から市政に対する一般質問が行われました。質問の一部を抜粋しての掲載となり、内容につきましては各議員において編集しております。掲載の順番は質問順です。

新型コロナウイルス対応について



山崎一郎議員

**問** 国からの「臨時交付金」の1次分で専決対応された「宿泊・飲食事業者支援」は評価する。2次分については落ち込んだ消費の回復を図り地域を元気づけることが重要。思い切ったプレミアムを付けた商品券を発行すべきと思うがどうか。  
**答** 大変有効なご提案なので早急に発行出来るよう制度設計に取り組みたい。

公有財産の利活用について

**問** 旧城南中の利活用計画が進んでいるように見えない。耐震性のない校舎の取り壊しに数億円要するようだが、計画があれば過疎債が使えると思うがどうか。  
**答** 跡地利用計画が「過疎地域自立促進計画」に位置づけられていれば、取り壊しも過疎債対象になる。

**問** この場所は駅や病院、買物などの利便性が良いのでホテル誘致と同様、民間の意見や地元資本にも参加を求め地域が活気づくよう早急に計画すべきと思うがどうか。  
**答** 官と民だけでなく民同士の連携も含め、有効活用に向け検討を進めて参りたい。

コロナ禍と地域経済



高山恒夫議員

**問** 厳しいコロナ禍で市民に寄り添う認識は。  
**答** 外出自粛や学校休校など市民の協力に感謝。社会への影響は先が見えないが、ある意味転換点となっていくのではないかと。さまざまな状況を見据えた市政運営を進めたい。

特別定額給付金

**問** 一律10万円給付金の申告漏れにどう対応するか。  
**答** 8月17日申請期限に向けて広報とともに再通知も予定している。

新しい生活様式

**問** 市起業支援センター「あすちやれ」をどう活かすか。  
**答** 首都圏からのアクセスや自然環境の特色を生かし、ワーケーション事業者の誘致も進めたい。民間も含め管理運営方法を見直したい。

台風19号災害課題整理

**問** 4月に国の千曲川緊急治水対策出張所が飯山市へ設置されたが、機会がある度に国の幹部と情報交換をしてきた。双方理解と信頼関係を構築している。市民の安全安心のため更に国と連携し事業を進めたい。

新型コロナウイルス対策について



渡辺美智子議員

**問** 宿泊、飲食事業者以外の300事業所を想定して事業継続支援給付事業が盛り込まれているが、どのような事業所が対象か。医療、介護など福祉事業も対象になるか。  
**答** 小売、卸売業、建設、製造業、農業などが対象。医療法人、NPO法人、介護関係、障がい者関係も対象。

**問** 売上げの5割減、市税を滞納していないことがなぜ条件に入っているのか。  
**答** 国の給付金に上乗せしての支援。市税滞納で相談の際に国の給付金、県の協力を納税に充てていただき対応。

**問** 1回きりでなく再度の支援を求める。  
**答** 該当しない事業所にも使えるようにプレミアム商品券で経済対策を早急に進める。

**問** 小、中学校において、現在の教室の広さで1人1席開けると何人入れるか。学校を統廃合すると、この基準が守られない状況と考えるが。  
**答** 25名以下だと1人1席開けられる。新たな学校作りのため、教育委員会計画案を学校規模を含め作成中。

昨年の洪水時 有尾樋管が開いていた



松本淳一議員

**問** 有尾樋管は皿川の樋門のすぐ下流に設置されている。昨年の洪水では、千曲川の水位が上がり、本流からの逆流を防ぐため皿川のゲートが閉鎖されている。市の記録によれば、当時、皿川ゲート閉鎖後、有尾樋管が8時間は開いていたことなるが、事実か。  
**答** 皿川樋門閉鎖後、有尾樋管は8時間16分開いていた。

**問** 閉めるべき樋管が開いていたことなる、事情は何か。  
**答** 有尾樋管の管理を消防団に委託しているが、市街地各所に出水があり、消防団へ他からの出動要請があったためと聞いている。有尾樋管の管理担当は農林課がしている。

**問** 近くの有尾汚水中継ポンプ場が水没故障した。有尾樋管から流入した水がポンプ場に影響したのではないか。  
**答** 職員が皿川の左岸から越流してポンプ場に浸水したことを確認している。

新型コロナウイルス対応について



水野正彦議員

**問** 数万人の宿泊客がキャンセルとなるが対応策は。  
**答** 長野県においては、プレミアム宿泊券の発行が計画されている。期限が7月末と聞いている。それ以降も宿泊を継続して応援していかねばならないと思っている。市独自の宿泊についてのプレミアム券の発行等も検討する必要はある。そうした点でプレミアム商品券宿泊クーポン券等迅速に対応してまいりたい。

**問** ◆冬季インターハイの開催  
ワックスルーム確保に代替え施設となるコンテナハウスを市で手配できないか。  
**答** 宿泊施設もギリギリの中そのことによって宿の数が減ることは避けたい。ワックスルームが既にある宿や代替え施設を予定している宿もあるので、戸狩観光協会と相談させていただきながら、対応を検討したいと考えている。

**問** インターハイ開催可否の判断はいつまでに決まるか。  
**答** 9月24日に予定されている全国高体連の総体中央委員会において、何らかの指針が示されると推測する。

小中学校の教育環境について



吉越利明議員

**問** コロナウイルスの影響で休校となつてしまつたが、生徒における学びのケアは。  
**答** 夏休みを減らし、遅れが無いよう対応していきたい。

**問** タブレット端末の導入計画並びに今後の進め方は。  
**答** 指導力強化のため外部支援員の導入、今後の休校も想定し、オンライン学習ができるよう設備を整えていきたい。

**問** ◆商工業・観光対策について  
今後の考えは。  
**答** 観光に関して、国内客の需要獲得は重要、関係団体と協議して進めていきたい。経済対策に関して、国からの交付金を有効に活用する事を主体とし今後の事業を進めたい。

**問** ◆市民の意識向上にむけて  
ウイリスの影響で不安を抱える方が多い。今後の取り組みは。  
**答** 価値観やライフスタイルが変ってくることを考える。市民の皆さんと知恵を出し合い、行政がリードし強みを活かした取り組みを進めていきたい。

理解できない水位の発信



市川久芳議員

**問** ◆水位観測所の知識はあるか  
防災無線で市民に知らせている「水位観測所」の堤防の高さとその地点の「計画高水位」を知らないという3月議会での答弁されたが勉強されたのか。  
**答** 知らないということではなく、その地点の国による正確な数値は公表されていない。

**問** ◆親切な水位の報告をすべき  
市民は「水位8.13(30センチ)と放送されても状況が理解できないので堤防天端から3メートルか放送されたら理解できる。3月議会では今後検討することだがどうなりましたか。  
**答** 国土交通省が設置した上新田揚水機場樋管の水位計により、天端から3メートルを切った段階からその数値を参考としてお知らせしたい。

**問** ◆耐越水堤防について  
現在、台風19号で破堤した現地で実施されている堤防復旧の構造を知っていたら説明してください。  
**答** 新聞報道等を通じて承知している。穂保の例では堤防の天端をアスファルト舗装して堤防の表と裏をコンクリートブロックで補強している。

一般質問

# 一般質問

## 新型コロナウイルス関連について



岸田真紀議員

**問** 緊急事態宣言が解除されたがまだ収束した状況ではない。避難所に避難する事に不安を感じている人が多くいるとおもいますが、どのような対応を考えているのか。

**答** 避難所の受け入れに対しては3密を避ける事としていきたい。

**問** 他の議員からも質問があり市長からの答弁もあったが飯山市独自のプレミアム商品券を早急に進めるべきと感じるがどうか。

**答** 景気対策という事で多くの議員からもでたがこの事業は早急にやっていきたい。この定例会で追加補正を提案する。

**問** 平成27年から取り組んでいる移住・定住の施策の実績と移住者の状況はどうか。

**答** 平成27年度から令和元年度までの移住者数は410人となっている。着実に増え昨年度は120人となっている。

**問** 口腔内疾患検診の補助事業では40歳から70歳まで10歳間隔だが妊婦さんにも検診も要望するがどうか。

**答** 大事なことであり、検診の補助等について検討をする。

## コロナ後みすえ市内中小企業に手厚い支援を



上松永林議員

**◆「経済活性化について」**  
**問** 台風・寡雪・コロナ禍でこうむった市の経済的損失は。申請時の売上減少率平均は寡雪19割。コロナ禍40割で約3割の事業者は50割を超えている。

**問** 最優先は、ウイルス収束後の市経済を支え、成長を担う企業・小売店の存続です。手厚い支援が必要ではないか。

**答** 宿泊業・飲食業へは支援給付を行なっている。その他では、300事業所を想定して「事業継続支援給付金事業」で6月補正に予算を計上している。「プレミアム商品券」の販売も今後予定している。

**問** 収束後は新しいビジネスモデルの構築が求められるが。

**答** そのために、情報を収集し、関係機関と協議したい。

**問** 行政の目的は住民福祉の増進。明日の飯山に向けて。

**答** 一にコロナ感染を阻止。二に市内でのお金の循環を幅広く。三に収束後に始まる新時代に対応できる準備をし経済の回復と振興を進める。三つのステップに市民の皆さまのご協力をぜひお願いしたい。

## 農家存続のため国庫補助金を最大限活用すべき



飯田健一議員

**問** 私は、台風19号による常盤・木島の河川敷の土砂堆積被害は、農水省の国庫補助を活用すべきだったと考える。なぜこの国庫補助事業申請をしなかったのか。

**答** 被害があつたら、先ず第一報をいただきたい。申し出がないと申請はできない。

**問** 国庫補助申請のことをよく説明・相談をして申請を促すべきではなかったか。

**答** 農地は個人の財産、やはり申し出てもらいたい。議員からも地元への助言や連絡することを考えてはしなかった。

**問** 長野市などは当初から農地は全部一括して申請をし、後に希望がないものは取り下げるという手法を取ったと聞くがどうか。

**答** 農家に希望を聞いて申請をしたと確認をしている。

**問** 柏尾の田の復旧の件、受益者からは市からの説明はなかったと聞いているが、いつだれが説明したか。

**答** 柏尾については日程が合わず電話で対応した。閑沢については日程調整が出来たので説明会を開催した。

## 新型コロナウイルス感染拡大について



小林喜美治議員

**問** 新型コロナウイルス問題は、人間社会への警告として根本的な問題提起がされている。市長は議会答弁の中で、コロナ対策として①市内における感染拡大を防止する②市内経済の回復、これまでの支援策も生かして広くお金をまわすこと③第1補正は損失補てん、第2補正は景気回復として取り組むと答弁したが、日本共産党は「自粛と補償は一体に」を基本に提案・提言をしてきた。国・県の支援策、飯山市独自の支援策などにより、市民が希望の持てる、前向きな支援策となるよう願うが市長の見解を伺う。

**答** コロナウイルスの感染問題は、これからもまたおきてくるものと思う。まだおきていない課題もしっかり把握して、根幹は市民生活をしっかりと守ることと考えている。

**問** 医療・検査体制の強化を国に要望し、市としての体制も強化すべきと思うが見解を。

**答** 医療・検査体制の強化は必要であり、全国市長会でも体制強化は決議されており、その中で要望していく。

## 新型コロナウイルス・移住・防災について



西澤一彦議員

**問** 昨年120名の若者が飯山市に移住された。コロナ禍の今、テレワークで自宅で仕事をする大企業もあり、自然豊かな地に移住し仕事をしたいと考えている若者が、非常に増加。地方への人口の逆流が始まる可能性が高い。

**答** ライフスタイルの考え方が変わってきている。そうした動きに注視して移住を進められるよう力を入れたい。

**問** 移住後まず住居が必要になる。増え続ける空き家の情報を把握し空き家バンクに登録し受皿を作る必要があり、危険空き家解消につながる。

**答** 毎年区長にお願いし、新しい空き家情報を収集。職員3名が現地調査・所有者調整をしている。元年度は25件の空き家再利用ができた。

**問** 古牧橋付近の低い箇所は大型土のう、盛土等で対応とのこと。感謝するが、古牧橋架け替え時期は。

**答** 遊水地計画等と国県で調整を図っている状況と聞いている。

**問** ため池の調査結果は。

**答** ため池に異常はない。ハザードマップはでき次第配布。

## 市川議員への嚴重注意 チラシの内容が事実と全く異なるため議会運営委員会で注意

会派「明日の飯山(市川・松本・飯田議員)・代表市川久芳」6月発行のチラシで、市川個人の意見としながらも「議員報酬の返上を議会運営委員会に提案したが聞く耳を持ってもらえなかった」との趣旨で市内に新聞折込がされました。



に明日の飯山も協力します」と明確に会派としての意見も発信されているとおりで。

しかし、市川議員は議会運営委員会の審議経過を完全無視し、「聞く耳すら持たない」と自己中心的認識に立つての発言は、他の議会運営委員への侮辱でもあり看過されるものではありません。

よって議会運営委員会として市川議員の日ごろからの議会審議への態度も含め嚴重注意といたしました。

議会運営委員長 佐藤正夫

市川議員は、議会運営委員会の一員としてその発言に責任のある立場でもあり、事実と異なる部分について問いただし、議会運営委員会として嚴重注意を行いました。

経過について、5月20日の議会運営委員会では、市川議員からの同発言が次の会議が迫る閉会時であったため、審議する時間がなく次回送りとしたしました。その後、6月1日の議会運営委員会で改めて同発言を議題とする中で、委員間でもさまざまな意見がありましたが、審議の結果、「返上ではなく市内で消費すべき」と確認されたところ。

このことは同会派のチラシでも「今大切なことは市内に流通するお金を増やす事で、公務員の給与を減らしても経済効果はない。市内消費

## 議場見学

7月3日東小学校3年生14名、7月22日秋津小学校3年生22名が、社会科学見学で市役所を訪れ議場を見学しました。議場では、議会の仕組みや仕事についての説明を受けました。



7月22日秋津小学校3年生22名



7月3日東小学校3年生14名

## 本会議を傍聴する方へお願い (新型コロナウイルス感染拡大防止について)

本会議については「i ネット飯山」で放送をしています。感染状況を鑑み自粛をお願いします。

なお、本会議を傍聴する方は、席の間隔をあけてお座りいただき、必ずマスクを着用ください。(入場者数の制限あり)

- ◆ 令和2年9月定例会 会期日程 (予定)
- ◆ 招集・議案上程 9月1日(火)
- ◆ 一般質問 9月9日(水)
- ◆ 各常任委員会審査 11日(金)
- ◆ 委員長報告・採決 14日(月)
- ◆ 24日(木)